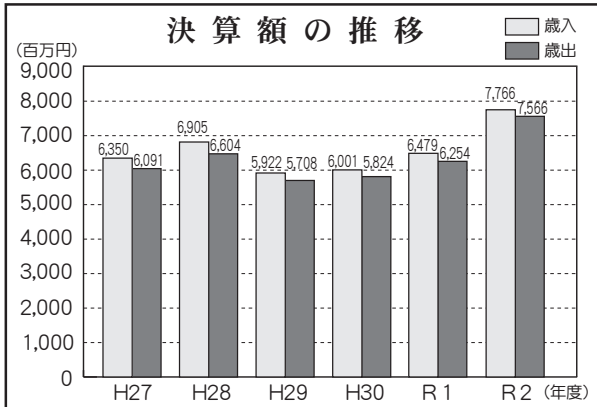


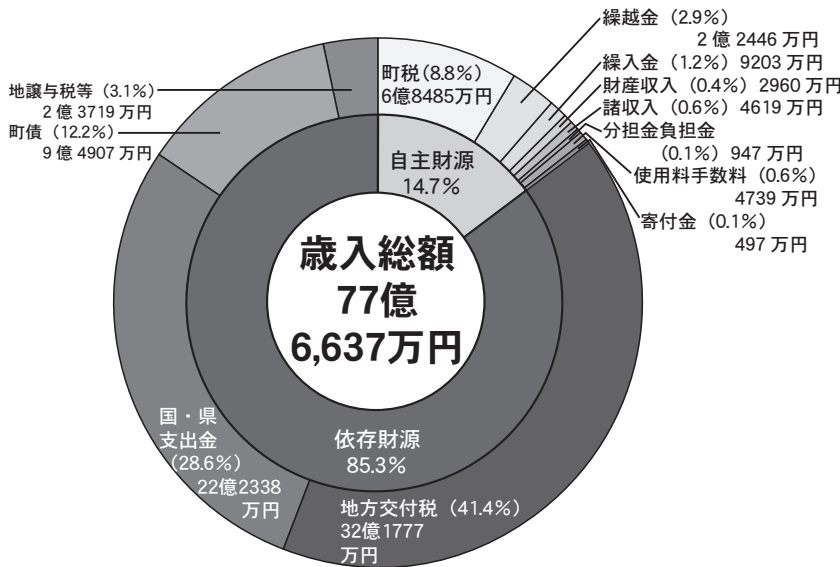
令和2年度 智頭町の決算 を報告します

9月定例議会で、令和2年度決算が認定され、前年度に比べ、歳入歳出とも増額の決算となりました。主な理由としては、新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策にかかる支出の増、また令和元年度に開始した新図書館建設事業・富沢コミュニティセンター建設事業の実施による事業費の増が挙げられます。

歳入から歳出を引き、次年度への繰越事業の財源を除いた実質収支は1億7,596万円の黒字となりました。



■歳入総額



歳入総額は前年度64億7,885万円と比べ、12億8,752万円の増となりました。要因は、特別定額給付金等の新型コロナウイルス感染症対策関連の国庫支出金の増、新図書館建設事業・富沢コミュニティセンター建設事業にかかる町債の増などです。収入の約8割は、国から交付される地方交付税と国・県支出金、町債などの依存財源です。

町税…町民の皆さんが納めた税金
繰越金…前年度から繰越されたお金
繰入金…基金などから繰り入れたお金
諸収入…貸付金の元利金収入など
使用料手数料…保育料など特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金
財産収入…町が所有する財産の貸付や売却による収入など
分担金負担金…特定の利益を受けた人から徴収したお金
寄附金…町民の皆さんなどから受ける金銭による寄付(ふるさと納税含む)
地方交付税…市町村の規模に応じて、国から交付されたお金
国・県支出金…町の事業に対して国や県から交付されたお金
町債…多額な経費がかかる事業を行うために、国や金融機関から借りたお金
地方譲与税等…国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金